

昨年9月に情報提供した時の資料です。僭越ながら、実際に自分自身が子どもたちを引率するつもりで校外学習等における懸念事項をまとめたものです。ご覧になっていない方もおられると思い、→**変更点や新情報**を追加し、再度送付させていただきました。

※(防災実施計画は2025.4.3現在改訂されていない。医療救護対策実施計画2024.11にも万博協力病院名は記載されていない)

【大阪・関西万博での校外学習（修学旅行）等シミュレーション（※全校種を想定）】

	万博協会・府教育庁等の説明 (説明会資料・HP発表・当会聞き取りより)	懸念されることがら (新聞報道・専門機関の見解・関係諸機関への当会聞き取りより)
費用	・入場料無料(税金)・交通費は自己負担(八尾市・は補助表明) → 松原市・和歌山県なども一部負担。	・参加しない場合の公平性。 ・交通手段や予算を確定して計画ができるのか。
下見	・開会前は無理。添乗員を含め3人まで。 → テストラン時に可能に ・希望日にできない場合も。(リモートの可能性も)	・十分な検討ができるのか。実施要項、しおり作成、保護者説明会はどうするのか。 ・下見後に取りやめた場合、目的地を変更することが、時間的、予算的に可能か。 → 完成していない海外パビリオンも多く十分な下見ができない
目的	・いのち輝く未来社会、SDGsを学ぶ。 ・パビリオン予約不可 → 学校が選んだテーマに沿うパビリオンを協会が1館指定。	・有害物質等のちを危険にさらす要因が多数顕在化。 ・絶滅危惧種の営巣を妨げる工事指針等、SDGsに反する点多数。 ・マネーロンダリング疑惑のカジノ業者 MGM 出展のアメリカ館、多数の死者が出た紅麴事件の小林製菓が計画に参画していた(現在は辞退)「ヘルスパビリオン」など、教育的に懸念されるものが割り当てられた場合の対応。 → 命輝くに反してパレスチナ人を虐殺しているイスラエル館なども指定される可能性も…。 ・教育課程との整合性のある目的設定ができるのか。
事前学習	・10時間版と3時間版を作成。 タブレット端末等に教材データを取り込んで使用	・表紙に「競輪の補助事業」とあり、教育的に適切か。 ・下見ができない段階で有意義な学習指導ができるのか。 ・全教育課程を踏まえた合理的な時間設定か。 ・内容的に、万博の実態とずれている点や、参加企業のPRなど偏りも見受けられる。 通常の学習ですすでに学んでいることも多い。
交通・移動	・貸し切りバス(1日10台・低学年優先) ・駅シャトルバス(事前予約必要・詳細未定) ・大阪メトロ中央線 ・子ども専用列車(学校→大阪メトロ運行バス→森ノ宮駅→長田駅→夢洲駅。通常の倍の時間かかる)	・団体バス駐車場(第2交通ターミナル)はトイレの有無不明。→ 1か所有り。個室数は不明 地下にはPCB。メタンガスが毎日2t出ているガス抜き管83本が突き出ているエリア、火災事故も懸念されるメガソーラーの横を約1km歩いて移動。 ・乗り降り場の地下には放射性セシウム埋設(東日本大震災原発事故瓦礫焼却灰)。 ・超過密ダイヤ、車内及び駅構内の非常な混雑。(通勤・通学・観光客多い) ・時間のロス。車両内にトイレなし。復路については示されていない。バスと列車の乗り継ぎや予約は具体的にどうするのか。 → 夢洲駅トイレはコンコース(改札から反対側の端)のみ。女性用個室7。
熱中症対策	・給水機・自動販売機(現金も使用可) ・スポットエアコン・ミスト・テント・石のパーゴラ ・エントランス広場の遮熱舗装 ・熱中症アラート等情報提供 ・応急手当所(5か所)、診療所(3か所)	・台数は足りるのか。紛失、貸し借り等金銭トラブルの懸念。 ・遮熱舗装の無い所は夏季70℃以上に?石の効果と安全性は? ・アラートが出た場合、活動中止の判断はどうするか。 ・既存の病院も人手不足の中、人材が確保できるのか。(数は足りるのか) 重篤な場合の搬送先病院がまだ明記されていない。※ → 実施要項に書けない。
休憩場所	・団体休憩場所(屋根付き・園児、児童優先スポットエアコン・予約制で3,600席×4回転) ・木製リング下 ・芝生広場(撤退したパビリオン用地を人工芝に) ・静けさの森 ・会場全体各所 ・レストラン(火気不使用 → プロパンガス使用可に変更 ・キャッシュレス・プリペイドカードは会場内で販売・現金チャージ機)	・西休憩所はメタンガス爆発現場近く。 ・有毒ガス検出最多区域(別紙参照)。 ・盛り土は夢洲内の汚染土を使用する契約。夢洲の土は持ち出し禁止。(IR・カジノ用地では土壌改良工事中で、工事車両のタイヤは洗浄義務あり) ・行程に合わせた予約ができるのか。 ・大屋根リングの上下、静けさの森は落雷の危険が指摘されている。 ・人工芝は60℃を越えることもあり危険。(天然芝の場合は感染症リスク) ・国立感染症研究所が、「感染症媒介昆虫や動物が発生しやすい環境。開催時期は食中毒、豪雨、台風、猛暑の影響を受ける」とリスク評価。 ・隣のコンテナターミナルで猛毒のヒアリが550匹確認された。 ・確実に全員が時間内に食事できるのか。カードや端末の紛失、使用方法の混乱、貸し借り等のトラブルの懸念。→ 爆発火災の危険が増大
特別な支援・対応	・ユニバーサルデザインの実現を目指す ・情報提供・車いす貸し出し・バリアフリー、オールジェンダートイレ ・医療施設・カムダウンスペース等・スタッフの研修 など	・ほとんどが、設置予定や検討している段階であり、実際に十分機能できるのか。
地震・津波・台風・落雷・猛暑・火災への対応	・耐震設計で倒壊可能性は低い。 ・アクセスルートは耐震化済みで損壊など致命的被害の可能性は低い。 ・夢洲はかさ上げしているので、大部分は浸水しない想定。 ・15万人が3日間孤立想定で60万食備蓄(1人4食。不足分はレストランで対応)。 大阪府市からの物資の保管の協力(30万食上乗せ)も得る。 ・気象情報などにより閉場などを判断。 暑さ指数(WBGT)を活用 ・万博協会と大阪府市の連携を明確化 ・船舶による代替輸送やヘリコプター、船舶による疾病者輸送を要請 ・避難所(各施設、大屋根リング、広場、場外の夢洲、舞洲、咲洲にも設置) ・会場内は禁煙。場外に喫煙場所を設置 ※(枠内太字は9月2日発表「防災実施計画」より)	・液状化(能登地震の例)や強風による被害(2019年の台風21号でコンテナが倒壊、流出)を想定していない。→ 南海トラフの最大震度が6強に。耐震性は大丈夫か。 ・夢舞大橋は風速20mで、夢咲トンネルは冠水で、過去に通行止めになっている。コンテナ輸送や工事車両で常に渋滞。 ・液状化、沈下を想定していない(実際は起こる。隣のIRカジノ用地では、液状化対策工事中)避難先の此花区は殆どが海拔以下(区役所と消防署も-2m)。舞洲、咲洲も液状化する。 ・具体的な避難計画、避難経路はまだできていない。避難所建設の予算も上げていない。 ・予算、保管場所、搬送手段は確保できるのか。 ・災害時は、大阪市内はもとより府内各地で甚大な被害が想定される中、夢洲のみに救援物資、人材、機材を集中できるのか。 ・大型船舶を確保し、停泊できるのか。災害時に、船着き場・ヘリポートまでの移動は可能か、実際に運用できるのか。 ・避難所は、上記したように、いずれも危険要素があり、万博会場は、立ち入り禁止区域(コンテナターミナル、メガソーラー、IRカジノ工事現場・ゴミ処分場)に囲まれており、安全を確保できるのか。 ・落雷⇒メガソーラー火災(放水不可)⇒ガス爆発⇒木製リングで火災爆発の拡大、等の恐れはないのか。→ リングの護岸が浸食されたが、安全性は大丈夫なのか。 ・ルールを守らない喫煙者等による可燃性ガスへの引火の恐れ。
安全対策(メタンガス等)	・便器や配管周囲にシール設置。 ・機械による強制換気。 ・ガス検知器設置。 ・マンホールの蓋等の有孔化。 ・HPで測定値を毎日知らせる。 ・来場者への(測定値を)公表。	・夢洲は現在も稼働中のゴミの最終処分場なので、メタンガス、一酸化炭素、硫化水素、二酸化炭素が発生しており、数十年放出させる必要がある。密閉すると、滞留により濃度が増し、地中を移動して他所から噴出するので、爆発や健康被害の危険はなくなる。(実際に想定外の場所で検出され、爆発事故も起きた)※ 別紙参照 ・安全基準値を超えた場合、中止の判断、避難はどうするのか ・子どもたちの安心、安全を保障できるのか。(メタンは静電気でも爆発する)
何かあった時	・学校行事の責任は行事を決定した学校(学校長・職員)にある。	・子どもたちが、当日災害や事故に巻き込まれたら、後日健康被害がでたりした場合どのように対処するのか。教職員の責任は問われないのか。旅行保険の保証は適応されるのか。

